

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名	グループホーム こばと
日付	平成16年11月23日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス
評価調査員	薬剤師・介護支援専門員 痴呆介護経験8年、障害者、老人介護支援
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

講評 全体を通して(特に良いと思われる点など)

ホームのリビングルームからは、すぐそこに旭川が望める。春は土手沿いに桜が舞い、秋から冬には、とおい山々の紅葉や雪景色が楽しめる。四季折々の豊かな自然に恵まれた最高のロケーションである。

入り口では、草木染ののれんが優しくゆれる。ホーム内は、木材がふんだんに使用され落ち着いた雰囲気。清潔で家庭的な環境作りが来ている。

母体はイケヤ医院。医院長は、毎日入居者の様子を見て来てくれている。職員は、入居者の体調など記録を丁寧に取っている。必要があれば指示をもらう体制が出来ており安心できる。

階下には、併設のデイサービスがある。グループホームの入居者は、自由に利用でき、ヒノキ風呂、ジャグジー風呂、こやまき風呂などに入ったり、お花、絵手紙、木工、書道、絵画、陶芸、歌、琴など多彩なクラブ活動にも参加できる。

職員は、入居者に尊敬の念を持ちつつ接し、寄り添うようなケアが実践されている。

誠実な取り組み姿勢で、入居者、ご家族とのコミュニケーションを大切にされている。家族の訪問が大変多いが、訪問したくなるような温かい雰囲気のホームである。

改善の余地があると思われる点
なし

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 家族、地域、自然との関わりを持ちながら個人を尊重し、「その人らしく」「心に寄り添ったケア」を行いたい。 安心できる環境で、穏やかに生活することを目指している。 住み慣れた町で暮らせるように。家族がいつでも来られるように。との思いを持っている。入居者、家族と話し合いをよく行い、家族の希望を最優先に、出来るだけ希望に添えるよう頑張っている。			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 入居者の生活のリズムを知り、「心のケア」を大切に取組んでいる。家庭的な空気の中で、なじみの関係をつくり、ゆとりを持って介護できるように職員を配置している。 また、機能訓練の必要な方には、通所リハビリの利用や、生活リハビリとしてクラブ活動への参加も出来るようにしている。			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 入居者一人ひとりの生活暦を尊重し、プライドを傷つけないよう言葉遣いや表情にも配慮しながら介護にあたっている。元学校の先生にはピアノを、花の先生には玄関に生けてもらう。など、入居者の希望を尊重し、出来る範囲で最大限希望に添っている。			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 普段から、意見の言えるような人間関係をつくることに努力している。問題が発生した場合はすぐにカンファレンスを行い、解決を図っている。また、定期的に、合同カンファレンスを行い情報交換、意見交換を行いチームケアの向上にも努めている。 職員の研修にも積極的に、介護技術の向上に努めている。			